

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公表番号】特表2006-520627(P2006-520627A)

【公表日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【年通号数】公開・登録公報2006-036

【出願番号】特願2006-504786(P2006-504786)

【国際特許分類】

A 6 1 M 5/24 (2006.01)

A 6 1 M 5/148 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 5/24

A 6 1 M 5/14 4 8 5 F

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月20日(2007.3.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ハウジングと、

投与量ダイヤル・スリーブと、

ピストン・ロッドと、

ピストン・ロッドにねじ込み式に接続される駆動スリーブと、

駆動スリーブとハウジングとの間に配置されるリセット・スリーブと、

投与量表示装置とを備え、

a) 投与量ダイヤル・スリーブがハウジングの第2端部に向かって移動するとき、リセット・スリーブが、投与量ダイヤル・スリーブと共にハウジングの第2端部に向かって運ばれ、それにより、投与量表示装置がゼロ位置にリセットされ、

b) 投与量ダイヤル・スリーブおよび/またはリセット・スリーブが、ハウジングの第1端部に向かって移動するとき、投与量ダイヤル・スリーブおよび/またはリセット・スリーブが、駆動スリーブと係合し、それにより、駆動スリーブおよびピストン・ロッドの両方が、ハウジングの第1端部に向かって前進する

ことを特徴とする、医薬品送達装置において使用される投与量ダイヤルおよび駆動機構。

【請求項2】

請求項1に記載の投与量ダイヤルおよび駆動機構を備える医薬品送達装置において使用されるアセンブリ。

【請求項3】

請求項1または2に記載の投与量ダイヤルおよび駆動機構またはアセンブリを備える、医薬品送達装置。

【請求項4】

請求項1または2に記載の投与量ダイヤルおよび駆動機構またはアセンブリを提供するステップを含む、医薬品送達装置を組み立てる方法。

【請求項5】

請求項3に記載の医薬品送達装置を使用して、インシュリン、成長ホルモン、低分子量ヘパリン、その類似物、およびその派生物からなるグループから選択される活性化合物を

含む医薬品を分注するための方法。